



迎
春



本年も当組合を
よろしくお願い申し上げます

輝かしい新年を迎えて

今金町農業協同組合 代表理事組合長

小田島 親守



謹んで新春の
お慶びを申し
上げます

平成三十一年元旦

代表理事組合長

小田島 親守

専務理事 仁木 明

常務理事 大場 倫夫

理 事 内ヶ島 道良

理 事 黒須 隆之

理 事 山崎 仁

理 事 境田 哲哉

理 事 内ヶ島 祐一

理 事 水口 仁

理 事 成田 正春

理 事 上野 義則

理 事 谷崎 敏之

理 事 小田島 輝志

監 事 員外監事

管理部長 荒川 英也

管理部長 経済部長

金融部長 長浜 隆之

金融部長 安齋 保

営農部長 工藤 裕之

新年明けましておめでとうございます。
2019年の輝かしい新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。
また日頃よりJA事業運営に格別のご理解ご協力をいたしておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の今金町農業を振り返りまして、雪解けも早く、春作業は順調に進みましたが6月中旬以降の低温、日照不足、多雨等が長期間続き、全ての品目で成育の遅れ、圃場での防除・管理作業等に機械が入れない状態が長く続き、牧草収穫についても1ヶ月以上も遅れ、高品質での収穫が出来ませんでした。また露地野菜についても計画的播種が出来ず、作付面積が減少となりました。

水稻については全道では作況指数90の不良、檜山については93という中で今金では何とか10万俵を集荷する事が出来ました。系統販売を中心に29年産、30年産についても高価格で推移した事が救いでし

た。男しゃくについては収量面では前年対比でおよそ30%減となり、小玉傾向で推

移しました。価格面では平年並みに推移していますが高価格帯の規格品率が低い結果となっています。

酪農については、牧草の品質の低下による乳量の減少が心配されましたが、年内はその影響は見られず前年対比で上回っている状況にあります。

畜産については、黒毛和牛の素牛価格は多少の下げ傾向にあります。まだ高価格で推移しております。

施設作物については天候の影響による収量の減少も多少有りましたが、全国的な品不足等により価格は高い水準で推移しております。

中でもミニトマトについては前年比5千万円増の4億7千万円を超える結果となりました。

この様に作物によっては組合員皆様の努力が報われない結果となりました。

結びになりますが、今年一年が自然災害もなく豊穣の出来秋を迎えられますこと、組合員皆様ご家族一同の御多幸、ご健勝をご祈念申し上げ新年のご挨拶いたします。

また全道的に見ると大雪、大雨、台風更には胆振東部地震等多くの自然災害が発生し、多くの組合員盟友が犠牲されました。亡くなられた方々の

冥福をお祈り申し上げます。また被害を受けられた皆様にお見舞い申し上げます。

JA改革についても正念場を迎える年となりますが、昨年11月に開催された「第29回JA北海道大会」のメインテーマ「北

G交渉開始等、農業の総自由化の時代が想定されますが、地域農業が滅びて日本一丸となり強力に訴えていきます。JA改革についても正念場を迎える年となりますが、昨年11月に開催された「第29回JA北海道大会」のメインテーマ「北

G交渉開始等、農業の総自由化の時代が想定されますが、地域農業が滅びて日本一丸となり強力に訴えていきます。JA改革についても正念場を迎える年となりますが、昨年11月に開催された「第29回JA北海道大会」のメインテーマ「北

G交渉開始等、農業の総自由化の時代が想定されますが、地域農業が滅びて日本一丸となり強力に訴えていきます。JA改革についても正念場を迎える年となりますが、昨年11月に開催された「第29回JA北海道大会」のメインテーマ「北

平成31年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 会長

飛田 稔章



組合員並びにJA役職員の皆様には、輝かしい平成31年の新年を迎えた。ものと心よりお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なる尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先は気温も

高く、農作物の生育は平年並みで推移しましたが、7月の豪雨や台風21号により、農作物の倒伏や落果、農地・農業用施設の損壊など、全道各地域に甚大な被害が発生しました。

さらに9月6日に発生した北海道胆振東部地震により尊い命が失われるとともに、農畜産物や農業施設等に未

曾有の被害が発生し、道内全域が停

電となる「ブラックアウト」の発生により、組合員の営農やJAグループ北海道・農業関係組織の集出荷、輸送、製造、保管体制に多くの影響が生じてしましました。

現在、JAグループ北海道を挙げて、1日も早い、復旧・復興に向け、全力でその支援対策に取り組んでいるところであります。

作目別の作況をみると、米は、作況指数が90の「不良」、小麦は、天候不順の影響により、収量・品質とも平年を下回る結果、てん菜は、収量・糖度とも概ね平年並み、生乳は、胆振東部地震の影響と、今後は飼料作物の品質低下等による生乳生産への影響が懸念されているところです。

さて、昨年11月には、第29回JA北海道大会を開催しました。大会では、前回大会の決議事項を継承し、「農業所得増大」と「担い手確保・育成」の加速に取り組むとともに、「サポーターづくり」の活動拡大として、地域を共に支える准組合員の皆さんのご意見の把握に、これまで以上に取り組むことを決議しました。

また、協同組合の原点を、あらため

日米両国が「日米物品貿易協定」(TAG)の交渉開始に合意したことが発表されました。

今後、TAG交渉において、米国側から過去の経済連携協定で合意した以上の関税引き下げを求められる懸念があるため、その動向を注視していくとともに、農畜産物を犠牲にしない毅然とした対応を求めてまいります。

亥（つちのとい）になります。

亥には、「無病息災」や「安定した状態で始動を待つ準備期間」の意味があるとのことであります。

今年は、この亥年にあやかり、災害がなく、そして組合員の苦労が報われる実り多い豊穣の一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げ、新年にあたってのご挨拶いたします。

て見つめ直し、「新たな協同組合」の姿を継続的に討議することも決議しております。今後、組合員の多様な価値観やニーズに対応できる事業運営の展開を検討してまいります。

ちに、2019年5月には政府が進める「農協改革集中推進期間」の期限、2021年3月には「准組合員利用規制の調査期限」を迎えますが、JAグループ北海道としては、改革は自ら行うものとして、『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現に向けて、JAグループ一丸となって、大会決議事項の実践を通じた自己改革を進めてまいりたいと考えております。

結びになりますが、今年の干支は己亥（つちのとい）です。

亥には、「無病息災」や「安定した状態で始動を待つ準備期間」の意味があるとのことであります。

今年は、この亥年にあやかり、災害がなく、そして組合員の苦労が報われる実り多い豊穣の一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げ、新年にあたってのご挨拶いたします。

年頭のご挨拶

檜山農業改良普及センター
檜山北部支所 支所長

菊池 義彦



新年明けましておめでとうございます。

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

日頃より、農業改良普及センターの活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年の状況を振り返ると、降雪量は多かつたものの融雪は、3月13日と平年並でした。4月から10月における今金町の平均気温は20.1%、日照時間は97.6%、降水量は132%（平年比）、特に6月から7月にかけての日照不足により、檜山管内の水稻作況指数は、93「やや不良」となりました。

水稻の播種作業は平年より1日遅れで始まり、播種後の気温の乱高下により、出芽のバラツキ、苗立枯病が散見されました。また、播種後も苗質は概ね平年並みの状況でした。

移植作業は1日早く行われ、活着も良好でしたが、6月中旬以降の低温・日照不足により生育は停滞し、特に分けつけが、茎数は平年より少なく推移しました。

本年は6月から7月にかけての日照不足により生育が遅れたとともに、収量は、茎数を確保できなかつたため総粒数が少なめ、皆様の期待には届かず、品質はタンパクが高く、全体に遅れ穂による整粒歩合の低下が目立ちました。

幼穂形成期は平年より3日遅れの7月5日となりましたが、7月中旬からの好天により、出穂期は平年並みの7月13日と生育の遅れを取り戻しましたが、茎数・穗数は平年より大幅に少ない状況でした。

8月上旬の低温・日照不足により開花は不揃いで、8月2半旬のヤマセにより出穂の遅い所では葉鞘褐変や褐変穂の発生が見られました。

9月上旬までは、日照量が少なく登熟は遅れましたが、9月中旬に天候が回復し、成熟期は平年より1日遅れの9月18日にむかえることができました。収穫作業は、その後の降雨により、6日遅れとなりました。

馬鈴しょの植付は平年より早く、生育もほぼ順調に進みました。しかし、成育不足により、軟弱傾向での生育となりました。

上イモ類は平年よりやや少なく、規格内収量は平年比78%で、J規格以上の比率は平年より少くなりました。

豆類は、6月中旬からの低温の影響を受け、特に小豆においては、断続的な多くが開花は、小豆で平年より2日遅く、大

小麦は、平成29年秋の播種遅れとその後の天候不順により、越冬前の生育が確保できませんでした。このため、茎数は春以降の分づつで若干増加しましたが、平年より少なく推移しました。

最終的に穂数は平年より少なく、6月末頃よりふ枯れ（葉枯れ）の発生もあり、穂の遅い所では葉鞘褐変や褐変穂の発生が見られました。

畜産におきましては、「牧草」・「飼料用とうもろこし」とも、6月から7月にかけての天候不順により、生育・収穫作業に大きな影響を受け、平年の品質・収穫量を確保できず、今後の飼養管理が課題となります。

総じて各作物とも、基本技術を励行し、初期生育を確保したほ場ほど、天候に左右されず安定した収益を確保できた年となります。

考えます。

本年も世界情勢の変化など先の見えない状況下にあります。皆様と共に活動していきたいと考えています。

地域の皆様が笑顔で持続的に農業を営めるよう、皆様と共に活動していきたいと考えています。

最後に、新しい年を、豊穣の秋で皆様と共に喜びを分かち合えることを心から御祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

豆で2日早く、登熟は、大豆で平年並、小豆で8日遅れとなりました。

収量は、大豆は平年よりやや少なく、小豆は大幅に減収する結果となりました。

野菜類は、「ミニトマト」、「プロコリ」とも、6月の低温と日照不足の影響を受け、収量は平年よりやや少なかつたものの、価格に助けられ、平年を上回る販売額となりました。

いまかね TOPICS

「美味しいね♪」子供たちの笑顔が溢れました♪



11月16日、仁木明専務やJA女性部の部員らが、町内の小・中学校、へき地保育所、認定こども園を訪れ、「今金産ゆめぴりかのおにぎり」、「今金男しゃくの塩煮」、「吳汁」を調理し、児童生徒と一緒にいただきました。

この活動は「ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日」と題され、町内の子どもたちが生産者の作物に対する想いや育てる苦労を知り、「ふるさとの恵み」と「生産者」に感謝する心を育むきっかけとする目的で行われており、今年で11年目を迎えることになりました。

この日の給食に使われた食材は町内の生産者より無償で提供されたもので、地元食材をふんだんに使った美味しい給食に子供たちの笑顔が溢れました。

JA女性部の部員らが、町内の小・中学校、へき地保育所、認定こども園を訪れ、「今金産ゆめぴりかのおにぎり」、「今金男しゃくの塩煮」、「吳汁」を調理し、児童生徒と一緒にいただきました。

女性部創立60周年記念式典が開催されました！



昨年12月4日、今金町町民センターにてJA今金町女性創立60周年記念式典が開催されました。鈴木幸子部長の式辞に始まり、歴代部長・歴代事務局への功労者表彰等が執り行われました。

式典終了後は祝賀会も行われ創立50周年から60周年までの歩みを振り返ったほか、「民族歌舞団じぶし座」による記念公演では民謡や踊りのほか獅子舞が披露され、観客の頭を噛んで今後の健康と発展を祈念し会場内は大いに盛り上がりました。

最後は女性部役員や来賓による餅まきも行われ盛況の中、閉会となりました。

この先、70周年に向かって活動を進めていくにあたり来賓の方々からの励ましの言葉をいただき、今後の発展を考えていく節目となる会となりました。

いまかね TOPICS

今金男しゃくポテチ 完売御礼！



12月14日、JA今金町青年部がAコープいまかね店において(株)湖池屋のオンラインショップ限定で販売された「今金男しゃくポテトチップス」の試食販売を行いました。今年はオンラインショップでは予約段階で約2万5千ケースを完売し、地元今金町や札幌・東京の催事のみで店頭販売を行いましたが、毎回予定数量を売り切り、大好評をいただいております。

この日も用意した数量は全て午前中で売り切り、30年産の「今金男しゃくポテトチップス」はこれまで完売御礼となりました。また今年の秋の発売をどうぞ楽しみにお待ちください。

農業後継者激励会が行われました



▲写真前列左から2人目より廣田さんと森川さん

当日はJA役員、JA青年部・JA女性部の役員が出席し、これからの地域農業を支える担い手に励ましと期待の言葉が数多くかけられました。

業後継者は、美利河地区の廣田歩武さん（経営者・廣田順一さん）と川尻地区の森川修さん（経営者・同）の2名です。

11月22日、平成30年度農業後継者就農激励会が農協大会議室にて行われました。

今年度新たに就農した農業後継者は、美利河地区の廣田歩武さん（経営者・廣田順一さん）と川尻地区の森川修さん（経営者・同）

ストップ！ 農作業事故

人間工学専門家●石川文武

畜産作業の安全
畜産に関する農作業事故を数例紹介します。全国あちこちで類似の事故が発生し、死亡例も見られます。事例を見てひとごとだと思わず、防止対策を考え実行してください。

【事例1】

ロールベーラーのピックアップ部分に草が巻き付いたので取り除くため、トラクターの変速を中立にして下車し、前方から作業機に近づいた。そのとき、トラクターと作業機が前進してひかれ死亡した。

これは、トラクターの変速を中立にしただけで、PTOをOFFにしなかつたことが原因です。PTOが回っているので、作業機が前進したのです。わら詰まりなどでは、見掛け上止まっているだけで、抵抗がなくなります。動力を取り、駐車ブレーキもかけてから行いましょう。

検のためには、全ての動力を切り、駐車ブレーキもかけてから行いましょう。

【事例2】
ロールベーラーの搬送部に作業部を止めず送部に注油していくチエーンの割。ピンに軍手が取られ、指を負傷しました。

この例は点検で動力を止めなかつたことが原因です。

原因です。チェーンなどへの注油は動かしながら行いたくなりますが、とても危険です。先の長い注油器を使い、手が届かないように工夫しましょう。軍手は突起物などに引っ掛けやすいので、使わない方が安全な場合があります。

【事例3】

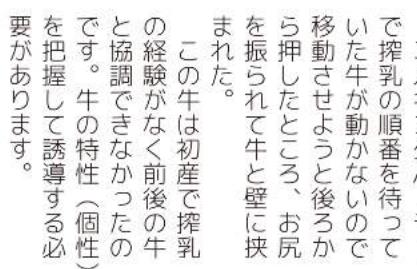
畜舎内で肥育牛に蹴られて大けがをした。

出荷のために牛体をきれいにしよう。牛の背後から接近し触れたところ、牛が驚いて後脚で蹴られた。牛の死角から接近することは驚かすことが多いので、牛から見える位置から接近して驚かせないようにしましょう。

【事例4】

ミルキングパーラーで搾乳の順番を待つていた牛が動かないのでもう押したところ、お尻を振られて牛と壁に挟まれた。

この牛は初産で搾乳の経験がなく前後の牛と協調できなかつたのです。牛の特性（個性）を把握して誘導する必要があります。



理事会報告

第13回理事会（平成30年10月29日）

◆報告事項

- 農業委員会総会報告について
- 第一委員会の報告について
- 農畜産物の販売状況及び生育状況について
- 道南・後志・日胆・石狩地区合同JA理事会研修の開催について
- J A北海道大会の参加について
- 就業時間の変更について
- J A主催新規就農者激励会の開催について
- 平成30年度資金対応について
- 北海道胆振東部地震・台風21号による被災組合員に対する救援募金について
- 顧客属性照会システムの定期確認結果について
- 北海道議会議員への要請書提出について
- 貸付金利息等の減免について

◆議決事項

- 議案第1号 平成30年度クミカン残整理に伴う資金対応について
- 議案第2号 平成30年度資産評価見直しについて
- 議案第3号 コンプライアンスマニュアルの改正について
- 議案第4号 内部監査規程の改正について
- 議案第5号 国営緊急農地再編整備事業
- 議案第6号 今金南（2工区）換地委員会委員の推薦について
- 議案第6号 理事者への貸付承認について

◆協議事項

- 平成30年度資産評価見直しについて

第14回理事会（平成30年11月22日）

◆報告事項

- 農業委員会総会報告について
- 第一委員会の報告について
- 第3四半期監査の実施について
- 組合員の加入・脱退状況について
- 第3四半期部門別実績対比について
- 土地の無償譲渡について
- 今金町との土地貸借契約について

◆議決事項

- 議案第1号 平成31年度営農計画書審査方針、基準について
- 議案第2号 平成31年度當農指導基本方針について

第15回理事会（平成30年12月8日）

◆報告事項

- 第一委員会報告について
- 第二委員会報告について
- 農畜産物の集荷・販売状況について
- 発電機の取りまとめについて
- 内部審査結果報告について

◆議決事項

- 議案第1号 平成30年産馬鈴薯追加払いについて
- 議案第2号 平成30年産米穀概算払いについて
- 議案第3号 理事者への貸付の承認について
- 議案第4号 理事者への貸付の承認について
- 議案第5号 信用限度を超える貸付金の承認について
- 議案第6号 年末手当の支給について

◆議決事項

- 事業運営の方向性について
- J A冬期懇談会の開催について
- 役員候補者推せん会議意見書について

元号 よもやま話

知ってる!?



1

元号制度は



中国から伝わった

2

元号を使う前は

どうしていた？

元号導入以前の日本では、人々は年を言い表すには干支（えと）を使いました。でも干支は60年、十二支だけだと12年で巡ります。戌（いぬ）年といつても去年？ 13年前？ これは公文書など記すには不便。ただし庶民の間では江戸時代まで干支の方が一般的でした。

4

期間が一番短い

元号は2カ月強！

江戸時代まで、元号は災害、遷都、戦乱、祥瑞（しようずい）などさまざまな理由で改元されました。一番短いのは、2カ月14日間の「曆仁」、次は3カ月と15日間の「天平感宝」。最も長いのは天皇の即位から薨去（こうきよ）まで続いた「昭和」の62年13日間です。

3

日本初の
元号は「大化」

日本で最初の元号は、中大兄皇子が蘇我入鹿を討った乙巳（いっし）の変の後。人心を新するため、元号を「大化」とし、大化の革新が進められました。それ以後、平成まで247の元号が定められています。



「平成」もいよいよ終わり。次の元号への期待も高まるこの頃です。
ところで元号っていつからある？ どうやって決めてきたの？
日本人なら知りたい、元号を巡るミニ知識をご紹介！

5

使う文字は中国の古典から

平安時代以降の日本の元号は全て『書經』『易經』『文選』『後漢書』など中国の古典が典出元。「平成」は『史記』と『書經』にある文字です。江戸時代末期まで漢文の専門家である文章博士(もんじょうはかせ)が候補を出して天皇が承認、今は学識経験者の案を内閣で検討します。



6

鳥やカメ、温泉から名付けた元号

古代にはシンプルな元号もたくさんありました。「白雉(はくち)」は白いキジ、「靈龜」は不思議な模様のカメが献上されたのがきっかけ。「和銅」は秩父で発見された自然銅で、日本初の貨幣・和同開珎を造った年だから。また「養老」は天皇の行幸先で温泉(温泉)が見つかったことから名付けられました。

8

ハレー彗星(すいせい)や大地震で改元!

平安時代の「天養」が、わざか1年4ヶ月強で「久安」になったのは、ハレー彗星が出現したからです。江戸時代の「元禄」は大地震や大火事が続いて「宝永」に。ところが3年後には富士山大噴火が起きました。

7

2種類の元号を使つた時代



同時に2人の天皇が並立した南北朝時代、元号も2種類あります。1331年から1392年までのことは、南北朝どちら側に付いていたかは、使つたです。南朝が「元弘」のときには「永徳」といいます。北朝は「正慶(しょうぎょう)」、「弘(こう)」のときには「永徳」といいます。南北朝どちら側に付いていたかは、使つた元号で明らかです。

9

なぜ一世一元になつた?



元号が一世一元(1人の天皇在位中は1元号)になつたのは明治時代からです。以前のように頻繁に変えるのはやめるべきと考え、中国の明時代の制度を取り入れたのです。そのときから庶民にも元号が浸透。同時に導入された太陽暦(西暦)と

ベジタブル ライフ

イラスト: 小林裕美子

ナバナ

～春を告げる栄養満点野菜～

ナバナのプロフィール

【分類】アブラナ科アブラナ属

【原産地】地中海沿岸

【おいしい時期(旬)】12~4月ころ

【主な栄養成分】

β-カロテン、ビタミンB1・B2・C・K、葉酸、カルシウム、鉄分、カリウムなど



見分け方

葉と茎の色が鮮やかで、柔らかくて張りがある

切り口がみずみずしく、変色がない

鮮度が落ちて乾燥するといき口が白っぽくなり空洞ができる



保存方法

2~3日を目安に使い切ろう



自然解凍しておひたしやあえ物などに

乾燥を防ぐため、温らせた新聞紙やペーパータオルなどに包んで「ボリ袋」に入れ冷蔵庫の野菜室に入れると持ちが良い

根を下にして立て入れておくと持ちが良い

たくさんある場合は冷凍して長期保存も可能。堅めにゆでた後、水気をよく切って保存。小分けにしておくと便利!

ナバナのいろいろ



菜の花(在来種系)

主に花茎・つぼみを食用とする。淡い緑色。15cmほどで束ねて販売されることが多く、昔ながらの在来種、また改良品種もある。北関東の「かき菜」も在来種の一つ。



アスパラ菜(オータムポエム)

中国野菜の紅菜苔(こうさいたい)と菜心(さいしん)を掛け合わせた品種。アスパラガスのような風味があり、甘味が強い。



菜花(セイヨウアブラナ系)

主に花茎と葉を食用とする。濃い緑色。癖や苦味が少なく、在来種系に比べて甘味がある。博多のブランド菜花「おいしい菜」、江戸東京野菜「のらぼう菜」などがある。

ナバナのチカラ

さまざまな栄養を豊富に含む優れた野菜のおひたしやあえ物、炒め物などにすると食べやすくてたくさん食べられるので、効率良く摂取できる

主な栄養成分

β-カロテン
抗酸化作用があり活性酸素を除去カリシウムやビタミン
骨の健康維持

その他、造血作用のある葉酸や鉄分、整腸作用のある食物繊維も多く、高血圧予防に良いとされるカリウムも多い。美容に良いとされるビタミンCも含有

期待される効能

心筋梗塞予防
重帯硬化予防
骨粗鬆症予防
冷え症予防
貧血予防

β-カロテンは体内でビタミンAに変換され、皮膚や粘膜を保護したり、活性酸素を除去するなどの働きがあり、免疫力を高めたり、風邪やがん予防などに効果があるといわれているよ

楽しみ方・食べ方のコツ

ゆでる 30秒~1分程度

塩を一つまみ入れた熱湯でゆでる

少し歯応えが残るくらいの硬さで、お湯からあげると良い

パスタやニンニクを利用したオリーブ油、またはま油など、味付けして油とあえてもいい



炒める

β-カロテンが豊富。油で炒めるとより効率よく摂取できる

卵との合わせメニューもお薦め

アクが気にならなくなるよ。油脂分があつて香りの強いものと相性抜群

パスタの具材にするときはさっと下茹でしてから



天下りも美味。下茹で不要!軸の根元を持ち天下の生地に花芽をくぐらせて煮た油にそっと落とす

ナバナのビミツ



ナバナはアブラナ科の花の総称。「菜の花」や「花菜(はなな)」とともに小松菜やハクサイ、チンゲンサイなどもアブラナ科の野菜の収穫せずにそのまま育てる「ナバナ」として食べられる



菜の花には観賞用の他、菜種油用のナタネ、食用のナバナがあり、それぞれ品種が異なる

歴史 地中海沿岸が原産地

奈良時代以前
日本に伝来。食用されていたと考えられている

江戸時代

照明などの用途に使う菜種油が使われていた農家の人は古くから食用として利用していた

明治・昭和時代

明治時代に西洋種のナバナが導入され、昭和になると食用としての品種改良が進む

J A グループ通信

J A グループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

J A 北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

J A 北海道中央会

次世代の大規模農業経営者の育成を目的とした「北海道アグリフードプロジェクト・アカデミー（農業経営塾）」の第3回講座が、受

講生10名の参加のもと、11月29日・30日の両日、札幌市内で開講されました。

今回は「人づくり・組織づくり」をテーマに組織開発、労務管理の基礎知識を専門家から学ぶとともに先進事例の紹介もあり、研修のまとめとして、受講生各自が「夢の農業経営」を実現するための「働き方改革実行宣言」を行いました。



J A 北海道信連

11月に農業経営者支援の一環として、今年で8回目となる「農業経営フォーラム」を札幌で開催しました。当日は、（有）トップリバーの嶋崎代表取締役に「トップリバーバイオ人材育成」を、志ネットワークの上甲代表に「いま経営者に求められるもの～松下幸之助の人づくり～」をテーマに講演頂きました。参加者からは、「人材育成の重要性を理解できた」、「人としてあるべき姿を教わった」など好評を頂きまし



ホクレン

全道のホクレンSNSで展開された「2018ラブ＆ハートリティキヤンペーン」にトヨタ自動車から寄せられた募金と、売り上げの一部を合算した総額300万円を、北海道社会福祉協議会へ寄託しました。



J A 共済連北海道

12月24日（月）から1月20日（日）まで、さっぽろ地下歩行空間に、「アンパンマン×子ども共済」の巨大壁面広告（全長14.5m）を掲出します（写真はイメージです）。一般のママ達が選ぶ「マザーズセレクション大賞」を受賞した「こども共済」を年末・年始にかけ全道から札幌へ訪れる方々へPRいたします。札幌にお越しの際は、ぜひ地下歩行空間でご覧下さい！



J A 北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご覧ください。



"tenohikari"

家の光

食と農から始まる。
JAグループのファミリー・マガジン



をぜひご購読ください!

12月号から誌面を大幅リニューアル!

読まずには
いられない!
新10連載
スタート!!



今知りたい! とっても気になる!!
フリー特集を毎号3本



家の光

定価(税込) ●普通月号 617円
●付録月号(1・4・5・7・9月号) 906円
●家計簿付き12月号 1,008円

女性組織活動にすぐ役立つ
手芸・健康のミニ特集を
毎号掲載!



年6回
別冊付録付き

ひとつのテーマを
掘り下げて紹介



※タイトル・内容は変更することがあります。

料理記事は
ぱっと見やすく



協同や助け合いのたいせつさを
伝える記事、JA自己改革関連記事なども
タイムリーにわかりやすく掲載!

| お申し込みはお近くのJAへ |